

Japan Bike Technique 2025 開催要項

開催日

2025 年 6 月 28 日（土曜日）～2025 年 6 月 29 日（日曜日）

開催場所（会場）

- メイン会場：長野県 高山村 Y o u 游ランド
〒382-0821 長野県上高井郡高山村牧 7 3
- サブ会場：長野県 高山村 山田牧場キャンプ場 野外音楽堂カリヨンホール
〒382-0816 長野県上高井郡高山村山田温泉 3 6 2 9

大会主旨

日本を走る理想の旅自転車を作る。

制作者が考える理想の旅自転車を具現化する

- 自転車作りの技とアイデアを競う
- 自転車を使った旅を模索・提案
- 仕様は自由（諸法令は遵守）

Japan Bike Technique（以下 JBT）は旅自転車製作のアイデアと技を競う大会です。

JBT2025 大会では製作者の自由な発想・挑戦を促すべく、素材、車輪径、必要装備等の規定を廃し新しい旅の自転車の姿を模索する挑戦を歓迎します。

また、e-Bike についてもカテゴリー分けをせず、人力による通常車用と同じ土俵での評価とします。

JBT2025 では、新しい試行として、ビルダー・ショップとは別に一般の方が、フレーム（オーダー制作・マスプロメーカ製を問わず）購入し、組立・制作した車両の参加を受け入れるべく「オープンクラス」を新設しました。

ビルダー・ショップに対し、一般の方の挑戦を加える事で、発想の幅を広げ、お互いの刺激になることを目指します。

スケジュール

● 2025 年 6 月 28 日（土曜日、雨天決行）

時間	内容	会場
09:00	開場	メイン会場
09:00～11:30	車検・計量	メイン会場
11:30～12:00	開会式	メイン会場
12:45	スタート準備	メイン会場前私道
13:00	Day1 Ride (Stage-1) スタート	メイン会場前私道
13:00～16:30	Stage-1：ヒルクライム You 遊ランド→笠岳峠	一般公道上
15:00～18:00	プレゼンテーション (Stage1 ゴール順)	サブ会場
18:00	Day1 解散	サブ会場

宿泊は山田牧場キャンプ場、奥山田温泉（山田牧場）、山田温泉を利用（各自手配）

● 2025 年 6 月 29 日（日曜日、雨天決行）

時間	内容	会場
03:45	集合	サブ会場（駐車場）
04:00	Day2 Ride スタート	サブ会場（駐車場）
04:00～08:00	Stage-2：ダウンヒル&ヒルクライム 山田牧場－DH→林道日蔭線始点－HC→林道日蔭線終点 林道日蔭線終点 8:00 で足切り	一般公道上
06:00～09:30	リエゾン：林道中日蔭線終点→毛無峠 毛無峠 10:00 にて足切り	一般公道上
07:10～11:00	Stage-3：ダウンヒル 毛無峠－DH→林道湯沢線始点（山麓側）	一般公道上
08:00～11:30	快適性試験（林道湯沢線始点（山麓側）付近）	一般公道上
08:30～12:00	Day2 Ride ゴール	メイン会場
08:30～12:30	走行後車検、輪行審査	メイン会場
12:00～13:00	集計	メイン会場
13:00～13:45	結果発表、講評、表彰	メイン会場
13:50～14:00	閉会式	メイン会場

雨天決行ですが、荒天等により道路等に障害がある場合、またはそれらが予想される場合中止とする可能性があります。

要求仕様

- 一泊二日の快適かつ安全な自転車旅を実現する自転車を制作して欲しい。
- 獲得標高 2000m 級、未舗装路を楽に走破できる様にして欲しい。
- 牧場沿い道路を走るの、動物の落とし物が体に跳ね付かない様に工夫して欲しい。
- 公共交通機関を利用した移動に対応できるようにして欲しい。
- 荷物は体につけなくて済むようにして欲しい。荷物を壊れない様に運びたい。

荷物はワインボトル 2 本（ガラス製、中身入り、720ml）および
温泉饅頭（1 パック 8 個入り）で模擬します。

● ストーリー

都市在住者が信州に一泊二日の予定の自転車旅行に行くシーンを想定します。

都市部から新幹線及び地方私鉄を乗継、須坂駅まで電車輪行で移動。

須坂駅を起点に高山村に残るグラベルルートと峠群を走ります。途中山間にある温泉宿に
宿泊します。

風景やグラベルライドを楽しんだ後、須坂駅に戻り電車輪行で帰宅するストーリーを模擬
します。（実際のスタート&ゴール地点は「You 游ランド」になります）。

積載方法、積載場所、分割搭載等は自由とします。

● 留意事項

- 一般公道を使用します。道路交通法等 法規の遵守を最優先とします。
- 標高差が大きいルートを設定しています。海面との標高による温度差は理論上 12℃となります。また雨天でも開催しますので、降雨対策が必要です。これら降雨・防寒装備を必ず携行し必要に応じ使用してください。
- 大高度差（獲得標高 2000m 級）かつ中距離（約 90Km）のルートを走行しますので、補給（食料、特に糖質）は必須と認識してください。かつ、途中で水の補給は難しいと認識してください（過去にハンガーノックと低体温症でリタイヤが発生しています）。
- 装備の積載方法、積載場所、分割搭載等は自由としますが、着用時以外の身体への装着は禁止します。
- ルート上に立哨や案内板は置きません。事前に配布した GPX データを用い GPS 等によりライダー自身でナビゲーションしてください。
ルートミスによるペナルティは設けませんが、チェックポイント不通過は失格となります。
また、チェックポイントにおける足切りタイムにより失格となる可能性があります。

制作規定

● 基本規定

- ・ 車体については公益法人日本交通管理技術協会が規定する「普通自転車」の形式認定審査基準を満たす必要があります。

<https://www.tmt.or.jp/examination/index3.html>

- ・ 灯火については、「東京都道路交通規則 第9条（軽車両の灯火）」を満たす必要があります。

https://www.reiki.metro.tokyo.lg.jp/reiki/reiki_honbun/g101RG00002199.html#e000001162

● 追加・除外規定

上記基本規定について、以下について除外・追加の規定を設けます。

・ 車体

- ① 鍵、スタンドの装備および形式番号、認定表示は求めません
- ② 車体幅 60cm 以下との規定を除外します（ハンドル幅などがこれを越えても構いません）
- ③ 必要装備を携行可能とする自転車に装着されたバッグ等積載用具の装備
乗員の身体に装着する形式（ザック等）の利用は禁止します。
ただし、携帯電話や補給食等小物の装着用は容認します
- ④ 必要と思われるツール、補修パーツ
- ⑤ 走行ルートおよび現在位置を確認可能とする装備（地図または GPS 装置）
- ⑥ 輪行対応可能であること。③の装備も一緒に輪行する必要があります。
車両の輪行袋収納時のサイズは三辺合計 250cm 以内および長辺 200cm 以内とします。

・ 灯火

- ⑦ 全区間での前照灯・尾灯の点灯を義務とします。点滅は認めません。
- ⑧ 前照灯・尾灯共、持続時間（4 時間以上）を有する事とします。

・ 補足

- ⑨ 輪行時、輪行袋収納時のサイズ以下を満たす必要とします。
 - 縦横高さの合計 250cm 以内および長辺 200cm 以内
- ⑩ 構成部材の素材・デザイン・装備については規定を設けません（自由）。
 - フレームに使用する素材は自由です。素材の違いにより採点に差が出る事は有りません
 - ホイールサイズ・タイヤサイズは自由です。
 - ドロヨケ、キャリアの有無、ダイナモ給電の採用は自由とします。採用の有無により採点に差が出る事は有りません。
 - 採用パーツの生産国による採点への影響は有りません。
- ⑪ ダウンヒル区間は斜度のある未舗装路となります。安全性を考慮した設計・パーツ選択にしてください

参加規定

- 走行中、一切のサポートを受ける事を禁止します。違反した場合は失格とします。
 - ・これに対応する為の用品の携行・装着及び対応するための知識・技術を必須とします。
 - ・Day1 の Ride-1 終了のメンテナンスは許容します。
- 装備のライダー身体への装着を禁止します。ただし、以下は例外とします。
 - ・安全装備（グラス、ヘルメット、グラブ、携帯電話）
 - ・衛生用品（ハンカチ・タオル、紙類）
 - ・雨具・防寒着の着用（使用時以外は身体への装着不可）
- 輪行に必要な用品、およびその携行。
- 安全走行に必要な装備の携行・装着。ヘルメットの着用は必須とします。
- 走行ルートを確認可能な GPS 装置の装備と使用を求めます。
 - ・JBT2025 ではルート上に案内版及び立哨は設けません。
 - ・事前にルート情報として GPX ファイルを配布します。

ライダー規定

ライダーに対する規定は設けません。大標高差＋悪路を走破可能な体力と根性をお持ちであればプロ・アマ・性別を問いません。

なお、JBT2025 では一部区間で足切りタイムを設けます（リタイア扱いとなります）

審査・採点内容

JBT2025 では、以下の審査を予定しています。

1. 重量（車体本体、装備）
2. プレゼンテーション
3. ライド（ヒルクライム I、II、ダウンヒル）
4. 車検（破損等）
5. 輪行（時間、技術）
6. 快適性

審査内容の詳細及び採点方法の詳細は「Japan Bike Technique 2025 採点内容」を参照してください。

仕様書

参加車両の仕様書を提出いただきます。提出期限は 2025 年 4 月 30 日とします。
完成車両への思い入れ・拘り等も記入願います。

なお、仕様書提出後も走行会前日間の仕様変更は許容します。
変更が発生した場合、走行会当日に仕様書を再提出してください。
(採点を行う際、仕様書の情報を参照する為です)。

仕様書の内容は以下の通りです(仕様書書式を別途提供します)

- ・ フレームのスペック
 - ー 使用材料(材質、パイプ製品名等)
 - ー フレームジオメトリ: ホイールベース、シートチューブ長、トップチューブ長、フロントセンター、リアセンター、BB 下り
- ・ e-Bike の場合、採用駆動機構メーカーおよび製品名、バッテリー容量
(メーカー製以外の場合、制御プログラム仕様。
ソースコードを提示・参照できるように準備しておいてください)。
- ・ 総重量(フレーム単体、完成状態)
- ・ オリジナルのフレーム加工・オリジナルのパーツの解説
- ・ 採用パーツの仕様
 - ー 駆動系: クランク、チェーンホイールおよび歯数、リアスプロケ(またはフリー)および段数&歯数構成
 - ー シフト系: FD、RD、シフター
 - ー ブレーキ: 形式、メーカー(DISK の場合マウント形式およびローター径、F、R 別に)
 - ー フィットティング: ハンドル、ステム、ピラー、サドル
 - ー 認識系: 給電方式、F ライト、R ライト、ベル
 - ー 補助系: マッドガード、スタンド(採用する場合)
 - ー 積載系: キャリア・バッグサポーター、バッグ
- ・ 価格(販売を想定した場合)

製作に際する思い入れ等あれば是非アピールしてください。採点に際し重要な要素となります。

写真、図、およびその他があればなお良いです。

自ら考案して製作したフレーム構造部材・各種パーツや既製パーツに対して加工したことなどの詳細について記述してください。このレポートに基づいて現車を確認し、加工・工作に関するポイントが計算されます。

問合せ先

Japan Bike Technique 実行委員会 事務局

e-Mail : inquiries@japanbiketechinque.org

電話 : 042-683-2887 (有限会社 マイス 市川)

FAX : 042-683-2868